

# 出雲高校第2期SSH!

目指す生徒像

地域・社会のリーダーとして貢献できる人材

—国創りを牽引するイノベーション人材—

3年生

リーダーを目指すうえで必要な資質・能力を身につける

—学習成果を積極的に発信し、より良い社会の形成に向けた創造的提案を行う—



サンタクララ海外研修

2年生

社会課題の解決や自己の進路を切り開くのに必要な資質・能力を身につける

—発見した課題を洞察し、解決に向けた探究活動を意欲的に行う—



海外留学生との意見交換

1年生

イノベーターとして必要な資質・能力と学びに向かう姿勢・態度を身につける

—自ら課題を発見し、解決していく手法や能力を習得する活動を行う—



地域でのフィールドワーク

SGHでの成果  
をSSHで  
継承・融合

SSH  
Super Science Highschool

出雲高校は  
平成25~29年度(5年間)  
平成30~R4年度(5年間)  
指定  
令和2年4月現在 全員で245名

科学技術、理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発・実践  
や、創造性、独創性を高める指導方法・教材等の開発、課題研究の  
推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を文部科  
学省が支援する研究開発事業

SGH

出雲高校は  
平成26~30年度(5年間)  
指定

国際化を進める国内の大学、企業、国際機関等と連携し、グローバ  
ルな社会課題を発見・解決し、様々な国際舞台で活躍できる人材の  
育成を図るため、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整  
備を文部科学省が支援する研究開発事業  
※終了しましたが、第2期SSHで活用していきます

## 出雲高校の「学びのスタイル」

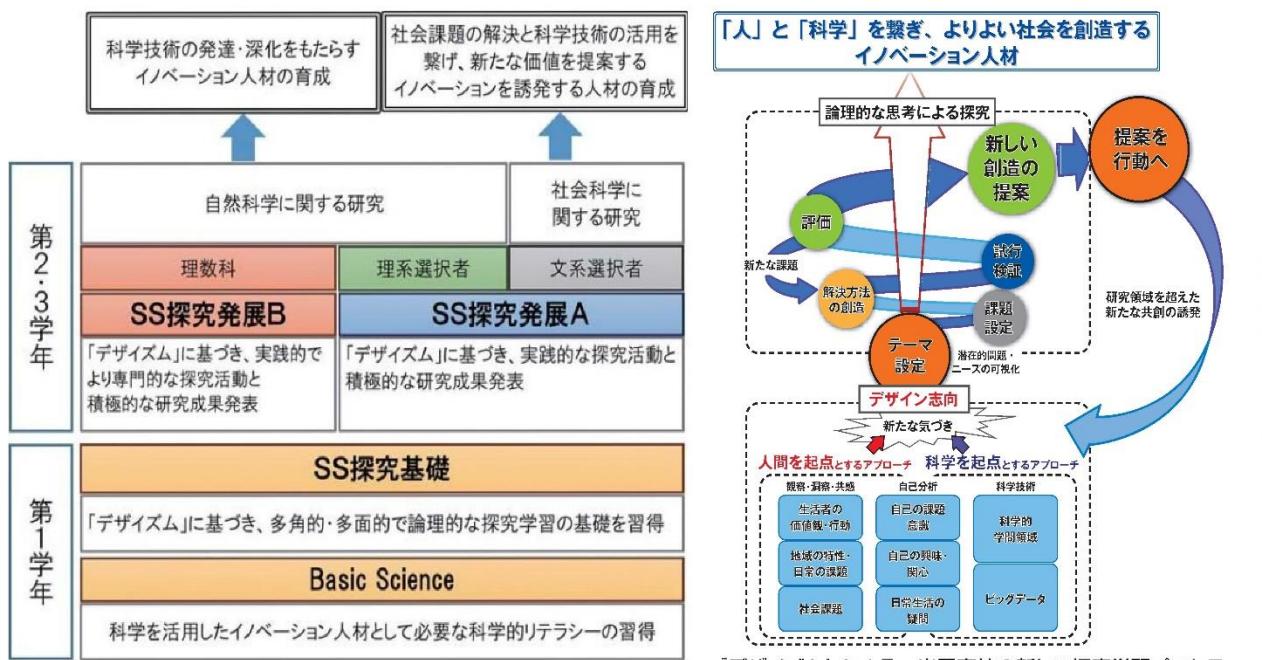
### ① 協働的な学習

- 教え合い、学び合いによる  
「新たな価値あるもの」の創造
- 地域、国際社会への発信

### ② 客観的根拠に基づく思考

- 論理的に考える (Logical Thinking)
- 多角的・多面的に考える (Critical Thinking)
- 事実に基づいて考える (Data-based Thinking)

## 出雲高校の新しいSSH 3年間の流れ



「デザイン」による、出雲高校の新しい探究学習プロセス

## 卒業生の声

東京大学教養部  
理科Ⅰ類

出雲高校では、様々なSSH事業の取り組みがあります。まず中心的な取り組みが課題研究であり、積極的に取り組むことで多くのものを得ることが出来ます。また、関西研修をはじめとする各種研修活動では、研究の最先端で活躍する方々と出会う良い機会になります。厳格なイメージがある研究者の方々にも、お話をさせてもらうと気さくな方が多く、様々なお話を聞くことが出来ます。他にも、各種オリンピックへの参加も斡旋してくれます。ある程度勉強が好きな人なら努力すれば本選へ進め、代表候補にもなり得るので、意欲的な人には是非参加して欲しいと思います。私自身は化学が好きで、3年生の時には本選に参加しました。今考えてみれば、もっと早くから勉強を始めていたら代表候補になっていたかもと少し後悔しています。科学オリンピックでは、全国からその分野の猛者たちが集うので、島根では経験できない体験ができます。皆さん、是非SSHを最大限活用してください。

神戸市外国語大学  
外国語学部

いきなりSSHと聞いても「どんなことをするのだろう?」「なんだか難しそうだな」と思う人も多いのではないかでしょうか。一回にSSHといつても、3年間で様々なことを行います。特に2年次に行う課題研究では、自分たちで研究テーマを設定して探究活動を進めていきます。テーマを設定する際に、「どんなテーマを設定すればいいんだろう」と迷うかもしれません。その時は、ぜひ過去の先輩の課題研究のテーマを見てみてください。「なぜ私たちはマスクをつけるのか」や「どんな服を着れば日焼けを軽減できるのか」など面白いテーマがたくさんあり、SSHが、高校生の身近な「知りたい!」を探究できる授業であることが分かるはずです。また、分からなことがありますれば、出雲高校の先生方だけではなく大学の先生や外部機関の方々など、たくさんの方にもご協力いただきました。とても贅沢な環境で研究をすることができます。私がSSHを通じて得られたものは研究成果だけではありません。仲間と協力する楽しさ、研究をまとめる力、人前で分かりやすく発表する難しさなど、本当に多くのことを学びました。皆さんもぜひ積極的に取り組んでみてください。